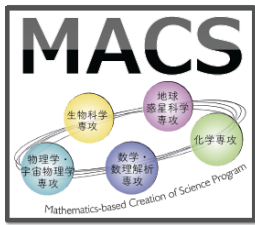


共催



運動パターンを制御する神経回路機構



他専攻からも来聴歓迎！

能瀬聡直 教授

Prof. Akinao Nose

東京大学・新領域創成科学研究科

日時: 2020年 1月24日(金) 16:00～

場所: 理学 1号館106号室(BP1)

動物のあらゆる行動は多数の筋肉を秩序正しく収縮させることで実現されます。私たちは、ショウジョウバエ幼虫のぜん動運動をモデルとして、この背景にある神経回路の仕組みを探っています。このため、運動中に特定のタイミングで活動し、したがって運動の制御に関わるようなニューロンを探索し、その役割を解析しています。また、コネクトミクス解析とよばれる電子顕微鏡画像の3次元再構築によりニューロン間の結合様式を明らかにする手法を用いて、これらニューロンがどのような回路構造を介して運動を制御しているのかを探っています。本セミナーでは、体節間の協調した活動伝播を実現する神経回路の構造と機能に関する最近の知見について紹介します。

Biodiversity
Colloquium

世話人:

生物科学専攻 動物学教室

高橋淑子 内線 4102